

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策1-2-3 農林水産業の担い手の確保・育成
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	水産課長 細馬 康二	電話番号	0852-22-5311
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	離島漁業再生支援事業
目的	(1) 対象 離島の漁業集落（4集落：海士町集落、西ノ島町全域集落、知夫島集落、隠岐の島町全域集落） (2) 意図 離島漁業の振興と離島の漁業集落の再生、活性化
事業概要	離島の漁業生産活動は本土側と比較して生産・出荷経費の面で不利な条件にあり、漁業者の減少や高齢化も進行している。このような状況に対し、漁場の生産力の向上や漁場の再生に関する実践的な取組を促進するため、漁業の再生に取り組む漁業集落へ交付金を交付することにより支援する。

2. 成果参考指標

(1)	指標名	内容	年度					単位	
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
成果参考指標	指標名	隠岐の島（4集落）の漁業集落協定への参加世帯数	目標値	1,289	1,289	1,289	1,289	世帯数	
	式・定義	参加世帯数（世帯数の維持）	実績値	1,289	1,289	1,289			
	達成率		100.00	100.00	100.00				
成果参考指標	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義		目標値	0.00	0.00				
	達成率		0.00	0.00	0.00				

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	137,969	141,794
うち一般財源(千円)	43,826	45,076

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

海岸・海底の清掃、植林、魚礁・産卵場の整備、種苗放流などの漁業生産力向上の取組並びに新しい漁具漁法の導入、鮮度保持、加工品開発、流通改善、販路拡大など漁業収益向上に向けて、地域資源や創意工夫を活かした取組について各集落で話し合い、漁業者自ら積極的に取り組むことによって、離島集落の水産業の活性化につながっている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

離島地域における集落維持を目的とした一種の所得補償制度として機能しており、様々な取組が実施されることで、離島地域の維持・定住対策として一定の成果を上げている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

事業を実施することにより一定の成果を上げているものの、離島の漁業は依然として厳しい状況にある。

②困っている状況が発生している「原因」

燃油価格や資材価格の高騰による漁労支出の増加、魚離れ等による魚価の低迷や漁業就業者の高齢化と後継者不足。

③原因を解消するための「課題」

今後もこの事業により様々な取組を続けていくことで成果を定着させる。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

平成27年度から始まる第3期事業期間において、事業が効果的に実施され、漁業・漁村の振興につながるよう助言・指導を実施していく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）